

今月号のキーワード

紙文書電子化の負担となる索引情報の入力・データ仕分けを自動化

特集

ワークスタイル改革の実績を製品化

ワークスタイル改革で複合機とファイルサーバによる紙文書の電子管理を実施。電子化の負担となる索引情報の入力・データ仕分けの自動化を実現しました。このたびのニュースレターでは、日立ソフトの『コンテンツ運用支援ソリューションMEANS』について紹介します。

Topics | 日立情報、日立システム、日立ソフトの3社がCSR講演イベントを合同で開催

お知らせ | 2010年版調査「働きがいのある会社」ランキング10位に選ばされました。

特集

ワークスタイル改革の実績を製品化

『MEANS紙文書電子化ソリューション』と『MEANSファイルサーバスリム化ソリューション』



盛井 恒男 (左) Tsuneo Morii

開発事業部
第2開発本部
ミドルソフト第4設計部

「MEANS」ビジネスの責任者。
「MEANS」の基本機能でお客様の
数々の課題を解決する為に、新たなソリューションを検討中。

石田 武彦 (右) Takehiko Ishida

営業統括本部 営業企画部
営業システム改善取りまとめ。
営業業務のシステム化による営業
事務工数の削減を図る。

当社のワークスタイル改革

機能的なオフィス

働きやすい職場

残業縮減

健康増進

ワークライフバランス

経営の効率化

環境への貢献

コミュニケーションの活性化をめざした職場環境の構築
社内業務のIT化加速による効率向上とペーパレス化
働き方の改革

図2:当社のワークスタイル改革

日立ソフトでは、2007年度よりワークスタイル改革に取り組み、

コミュニケーションの活性化をめざした職場環境の構築
社内業務のIT化加速による効率向上とペーパレス化
働き方の改革

の3本柱を設定し、そのうちの を「フェーズ1」と位置づけて、2008年1月より具体的な施策を実施してきました。(図2)

最初に取り組んだのは、「作業座席のフリーアドレス化」「ペーパーレスでも仕事ができるIT環境の整備(共有データのサーバ集約等)」です。フリーアドレス化による作業場所の集約化の進展に伴い、外出が多い営業部門の頭を最も悩ませたのは、書庫の確保でした。これまで営業活動の中で発生する各種の文書は、内部統制監査、税務監査、日立グループ内監査など各監査の重要な証憑となるため、それぞれの

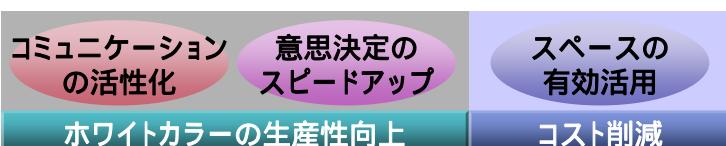


図1:ワークスタイル改革の効果

部署でコピーをファイリングし保管していました。通例では、約3年分を職場で保管しているのですが、このワークスタイル改革で文書の保管庫が一様に約半分に削減されました。さらにペーパーレス化により、これら営業証憑等の電子管理が求められ各フロアに複合機と共有ファイルサーバのネットワークが整備されました。

電子管理が実現すれば、閲覧は電子データを使用する為重要な証憑の破損や紛失のリスクがなくなります。また、システムによる検索が可能になれば、目的の文書の検索時間が格段に短縮でき、監査準備に要する作業を大幅に削減できます。しかし、そのためには紙文書のスキャニングに加え、検索を可能とするための索引情報の入力や、ファイル名の変更、電子データの仕分けなど非常に手間のかかる作業が必要となります。従って、営業員の作業負担を極力増加させずに、営業証憑の電子管理を実現することが、営業部門の大きな課題となっていましたのです。

現場の課題解決から誕生した「MEANS紙文書電子化ソリューション」

こうした現場の課題の解決策を検討する中で、「MEANS(ミーンズ)紙文書電子化ソリューション」は生まれました。スキャンデータは、OCR(注)処理を施せば全文テキスト検索が可能となります。しかし、複合機でのスキャニングとOCR(注)手書き文字や印字された文字を光学的に読み取り、前もって記憶された

パターンとの照合により文字を特定する機械

処理を同時に実行するとデータ処理に時間がかかる為、通常業務の中で実施することは困難です。「MEANS」では、OCR処理を一括自動化にし、複合機の機種を問わずスキャンのみの手順とすることで、作業時間を短縮しました。

索引情報の入力処理に関しては、OCR処理をした電子ファイルに対し、電子文書のレイアウトから属性情報(検索や分類のキーとなる文字列)を抽出する技術(特許出願中)を適用することで実現しました。さらに抽出した文書名、顧客名取引日付などの情報をもとに、同じキーワードをもつファイルを自動検索し、仮想的にフォルダに分けて表示します。これにより、ランダムに格納した電子ファイルの自動仕分けが可能になりました。ユーザは複合機でスキャンした結果をネットワーク接続された共有ファイルサーバに格納するだけでよく、電子データの登録処理は不要なので運用が容易になります。(図3)

コピーを繰り返した文書やフォーマットによっては、OCRや属性の自動抽出の精度が良くないケースがありますので、抽出した属性を画面で確認して訂正したり、文書に含まれない情報をタグとして付加できるインターフェースを設けました。現場の声を反映し、実運用に則したソリューションに仕上げたことで、「MEANS」は日立ソフトの営業部門にて実用化され、「MEANS紙文書電子化ソリューション」の製品化が実現したのです。

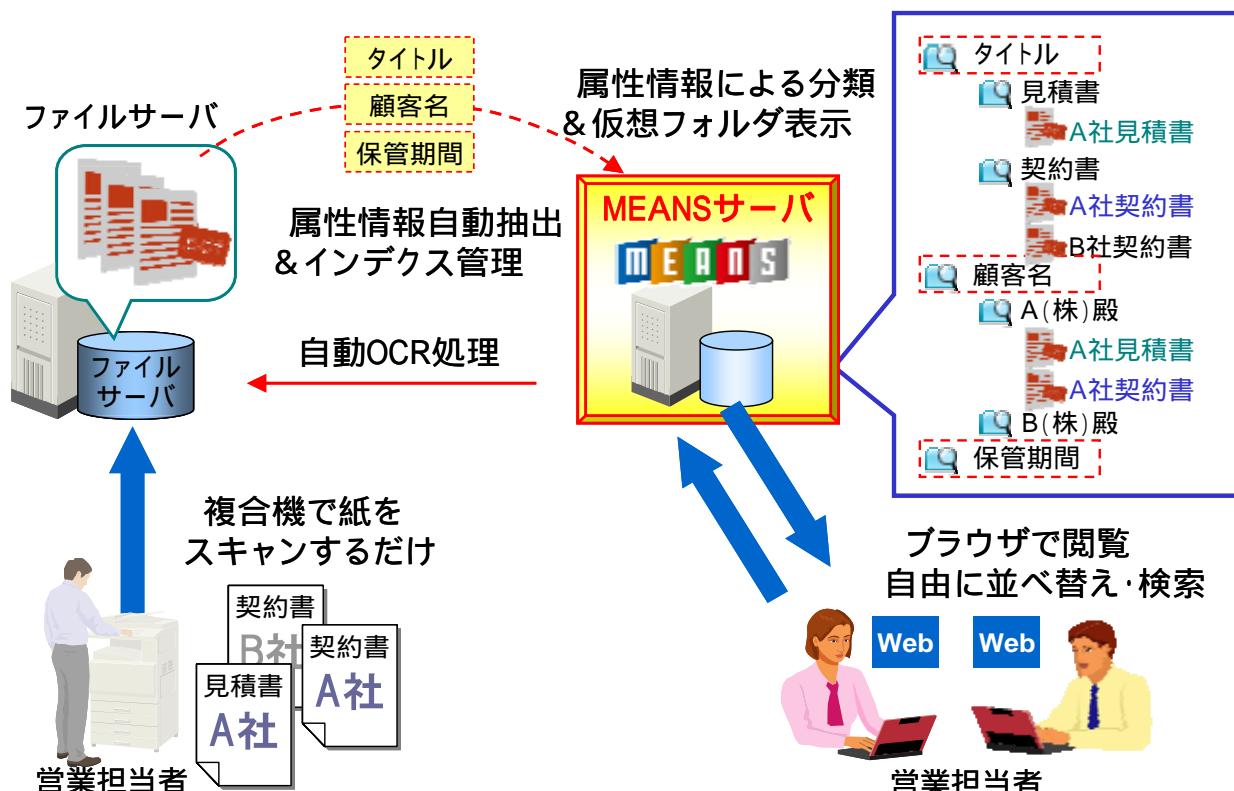


図3:「MEANS」紙文書電子化ソリューション

「MEANSファイルサーバスリム化ソリューション」の開発

紙文書を電子化することで、保管庫の確保の必要はなくなりましたが、電子データの増加はディスクを圧迫します。従って紙文書の廃棄と同様、電子データの削除も運用手順に組み入れるべきという考え方から、「MEANSファイルサーバスリム化ソリューション」は開発されました。本ソリューションはレイアウトからの属性情報抽出技術だけでなく、ファイル名／フォルダ名を手がかりにファイルの保存期間を自動付与できるようにし、ファイルの作成日からの経過時間に応じて削除すべきファイルを自動選択します。同様に、ファイルのプロパティ情報から、一定期間更新のないファイル、一定期間アクセスのないファイルを判断したり、ファイル名／フォルダ名から、作業用ファイルや業務に無関係のファイルを判断し、削除候補ファイルとして自動選択して表示します。

これらの削除ポリシーをソリューションに標準機能として組み入れ、対象となるファイルサーバのファイルから削除候補ファイルを自動検索するようにしました。また、お客様の設定した削除ルールを登録することも可能です。その結果をレポートとして表示することで、利用者が視覚的に利用状況を把握し、削除すべき不要ファイルを認識することができます。さらに、自動的に削除候補ファイルが選択される為、利用者はこの候補の中から全部のファイルを見直すことなしに、削除すべきファイルを選択・消去できます。従って効率的に

ファイルサーバをスリム化できるのです。(図4)

ファイルサーバの肥大化は、多くの企業・組織の課題となっています。各企業でファイルサーバ運用ルールを決め、システムに登録することで、これまで手がつけられなかった不要ファイルの整理を簡単に実行できます。日立ソフトは、ファイルサーバ運用のルール化を支援するコンサルティングサービスも提供しています。「MEANS」はお客様のコスト削減を支援するとともに、ディスク削減・消費電力の縮小による温室効果ガス排出削減にも寄与していきます。

情報共有・ナレッジマネジメント向けのソリューションの開発

「MEANS」の「属性情報の自動付与技術」、「属性情報による電子ファイルの仮想フォルダへの自動仕分け」、「クローリングによる自動登録」の基本機能は、「情報共有・情報活用」「セキュリティ」「運用・管理」の各分野の課題解決に活用できるものと考えています。今後は、自動抽出した属性情報を統計的に分析することにより、分類する仮想フォルダを自動生成したり、利用者がフォルダ階層を自由に組み替えられる機能を追加した、情報共有・ナレッジマネジメント向けのソリューションを開発していきます。また「属性情報の自動付与技術」を応用して、セキュリティに関連した属性情報を抽出・付与し、これを用いて社外への持ち出し制御やファイルへのアクセス制御などを実現する、新たな情報漏えい防止ソリューションなど、セキュリティ分野への展開をめざしていきます。

なぜサーバ容量が足りなくなるのか…

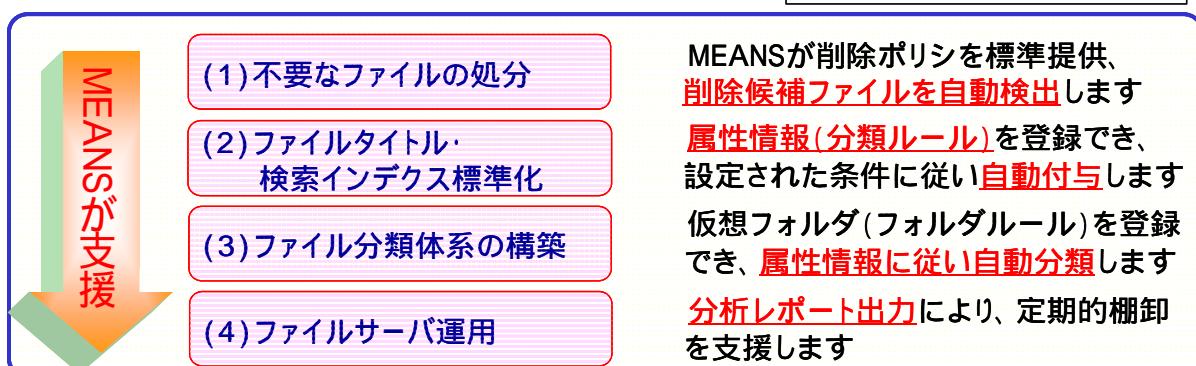
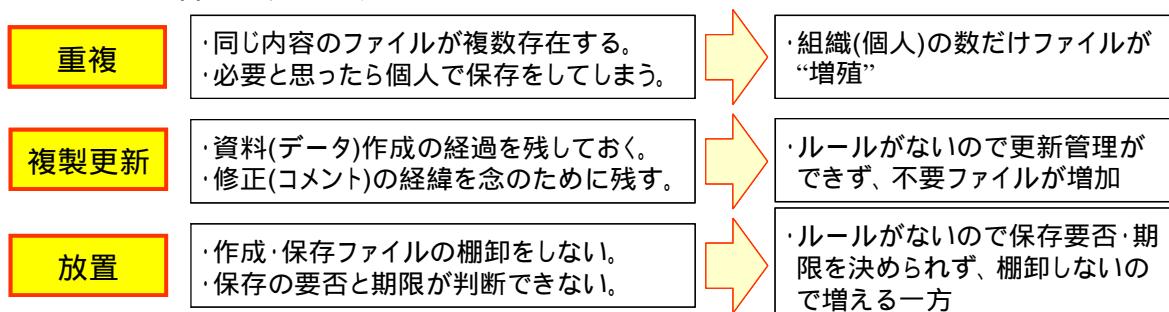


図4:「MEANS」ファイルサーバスリム化ソリューションの考え方

最近のニュースリリース

当社の最新およびこれまでのニュースの詳細は、当社ホームページのニュースリリース
<http://hitachisoft.jp/news/index.html> にてご覧頂けます

日立ソフトがクラウド環境でのCPU性能を保証するサービスを開始

「SecureOnline」において仮想マシンに割り当てるCPUリソースを、CPU1コアあたり最大3GHzまで保証

日立ソフトが国際財務報告基準(IFRS)対応の専門組織「IFRS推進室」を設立

お客様のIFRS対応実務をサポートするため、情報収集、ビジネス企画、プロモーションなどを推進

特権ID管理ソフトウェア「SR-AdminSupport」を機能強化

最高権限のIDに加えOSのグループに登録されたIDを一元管理し不正利用を防止

TOPICS

日立情報、日立システム、日立ソフトの3社がCSR講演イベントを合同で開催

当社のCSR活動の一環として、日立情報、日立システム、日立ソフトの3社は、各社社員を対象に協働し、「ソーシャル・インベーティー育成講座～いまこそ、私たちの手で社会変革を」と題するCSRをテーマとした講演イベントをシリーズで開催しています。その第3回は福祉をテーマに、映画監督 山田火砂子氏による講演会と同監督作品『筆子・その愛～天使のピアノ』の上映会を、日立情報本社にて3月11日に開催、3社合わせて約60人が参加しました。

本イベントは、「社会的課題の解決のための事業」や「社会変革に向けた、企業人としての行動のあり方」について考える場として企画したもので、貧困、人権、健康や福祉などの社会的課題をテーマに開催しているものです。



お知らせ

2010年版調査「働きがいのある会社」ランキング10位に選ばれました。

当社はGreat Place to Work社(GPTW)調べによる「働きがいのある会社」ランキングにて10位に選ばれました。本調査は世界40カ国以上で実施されており、米国では1988年より毎年「FORTUNE」誌に結果を発表。このリストに名を連ねることが一流企業の証と受け止められています。日本では、2007年より調査が実施されています。

当社の社内コミュニケーション、活気ある職場づくりに向けた経営層と社員の絶えざる努力が「働きがいある会社」として認められたポイントです。当社では、2007年から始まった「段々飛び懇談会」など、直接対話を重視した活気ある職場づくりに取り組んでおり、今後も各種施策を行っていきます。



商号

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

本社

〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番7号
Tel: 03-5780-2111(大代表)

設立年月日

1970年9月21日

従業員数

5,492名(2009年9月末)

売上高

1,658億円(連結)(2009年3月期)

事業内容

『システム開発』、『サービス』、『プロダクト&パッケージ』の3つを主な事業領域とし、加えて『情報処理機器』の開発・販売、そしてトータルの『システムインテグレーションサービス』の提供

主要製品・サービス

機密情報漏洩防止ソリューション「秘文」、指静脈認証システム「静紋」、電子ドキュメントトータルソリューション「活文」、インラクティブ電子ボード「StarBoard」、地理情報システム「GeoMation」、統制IT基盤提供サービス「SecureOnline」他

認証取得等

ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)、ISO9001(品質マネジメントシステム)

主な子会社および関連会社

日立ビジネスソリューション(株)、日立ソフトシステムデザイン(株)、キャブカード&サービス(株)
(株)アイネス、(株)ビジネスブレイン太田昭和、(株)DACS

ニュースレター、転載、取材に関するお問い合わせ

Tel: 03-5479-5013 [CSR本部 広報・宣伝部: 高野、柴田]

E-mail: press@hitachisoft.jp

記載されている会社および製品名は各社の商標または登録商標です。

発行日 2010年3月25日